

ひととき

サンタさんへの手紙

娘一家のメールニュースで、小学1年生の孫娘が、「サンタさんに手紙を送ったことを知りました。フィンランドからの「サンタさんの手紙」を毎年もらっている彼女は、サンタクロースの存在を信じています。

先日、悩んだあげくに欲しいプレゼントを決め、一人でサンタさんに手紙を書きました。母親が知らないうちに手紙を封筒に入れ、切手を張り、家の近くのポストに出したのです。

さて先の住所はなく、「サンタさんへ」とだけ。プレゼントを届けてもらうためか、自分の名前と住所はしっかり書いていました。

夕方、近くの郵便配達の方が自宅まで届けてくれ、母親に「分らないけど」

隠しておいてあげてください」と手紙を渡してくれたそうです。郵便受けに返送してしまったら本人が見つけてしまうかもしれない、という気遣いがありがたく、師走に向けて心に温かい灯がともりました。ちなみに、孫娘がサンタさんへの手紙に何を書いたのかは分かりません。

孫娘にこの出来事を明かすのは、いつごろになるでしょうか。

そのとき「あなたは昔、サンタさんにこんな手紙を書いていたのよ」と渡してあげたいと、娘夫婦は手紙を開けないまま、秘密の箱にしまっておくそうです。

東京都板橋区

本橋 和子

主婦 62歳